|  |
| --- |
| 勤務校　　　：　　　　　　　　　　　　　県立　　　　　　　　　　　　　高等学校　　　　　　　　　　　　　　科勤務先住所：　〒　　　　　　　　　　　　勤務先電話　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勤務先FAX　　　　　　　　　　ふ　り　が　な　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　：メールアドレス：（連絡しやすい方に○）　　 （　 　）学校　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　 　）個人 |

１　参加者の主な指導科目

　　記入例）　「野菜」3年　4単位・「生物活用」3年選択　2単位

２　研修参加の主な目的（箇条書きで課題等も記入してください。）

３　貴校における「生物活用」「地域資源活用」「農業経営」取り組み状況について（該当に○）

（　　）現在自分が指導中 　（　　）現在他の教諭が指導中

　（　　）　　　　　　年より実施予定 　（　　）科目　　　　　　　　　　　　で類似内容指導

　（　　）本校では行っていない

* 以下、科目設置学科　・学年　・単位数　・受講生徒数　・指導形態　・指導内容　・学外との連携や交流の有無や内容　・課題を箇条書きでまとめて下さい。
* 年間指導計画（シラバス）など別途資料がある方は、ぜひご提出ください。

資料は２０部準備し、当日会場へお持ちください。

* ‘本校では行っていない’に該当される方は、“「生物活用」「地域資源活用」「農業経営」について考えていること”、をお書き下さい。

　事前課題

　　1、7月24日　講義「あたらしい農業の可能性」講師　加藤百合子

　　　　別紙資料を事前にお読みください。

　　　　

　　2、7月25日　講義「農福連携と農業経営」

講師　鈴木　厚志

　　　　「京丸園が実践する“ユニバーサル農業”とは？ 持続可能な農福連携のカギ」

　　　　[京丸園が実践する「農福連携」の成功事例から見る未来。 福祉と力を借りて、農業を強くする！ ＜企業・福祉施設・行政＞ | AGRI JOURNAL](https://agrijournal.jp/production/50025/)

　　　　https://agrijournal.jp/production/50025/

を事前に読んでおいてください。

　3、７月27日　講義「新しい「農業経営」の戦略」

講師　岩崎　邦彦

　　　　「農業のマーケティング教科書 食と農のおいしいつなぎかた」

（日本経済新聞出版社）岩崎　邦彦

　　　　もしくは岩崎先生の著書一冊を事前に読んでおいてください。